



昼休み、いつでも誰でもOK!

がっ ひるやす としょかんりようせいげん まいにちほうそう りよう がくねん
5月は昼休みの図書館利用制限をしていて、毎日放送で利用できる学年をお知らせしてました。6月からは、いつでも誰でも利用できるようになっています。特に放送もしませんので、自由に図書館に来てくださいね!

図書委員、活躍中!

かんせんしょうたいさく としょいいん ぎょうむ
感染症対策で図書委員によるカウンター業務を中止して早2年…ついに6月から、図書委員の昼休みの仕事を再開しました。これまでは本の紹介や朝読チェック、督促…みんなに呼びかける大変なお仕事を中心だった図書委員さん。「こんなはずでは…」と思っていた人もいないのでしょうか。

こんねんど かしだしへんきやく てつだい
今年度は、カウンターでの貸出返却のお手伝いのほか、返ってきた本の整理をしています。「図書委員らしい仕事うれしい!」や「意外と大変…でも楽しい!」など言いながらがんばっています!



短歌のリズム♪



としょかんまえ ろうか ねんせい
図書館前の廊下に、2年生が国語の授業で作った短歌を掲示しています。全クラスの中から20作品を選んで紹介しています。ぜひ見に来てくださいね! 掲示の順番はバラバラです。

ブルーな本棚

そらいろ みずいろ あいいろ こんいろ
空色、水色、藍色、紺色、ターコイズブルー、
マリブルー…同じ「青」でも色んな「青」が
あります。
ひょうし あお しょうせつ あつ
表紙が「青」の小説を集めてみました。どの
「青」が好きですか？



『雨の降る日は学校に行かない』 相沢沙呼 (集英社)

ひるさ ぼけんしつ きょうしつ いばしよ らくえん
昼下がりの保健室は、教室に居場所のないナエとナツのささやかな楽園。だけどサエ
が突然「クラスに戻る」と言い出し…。揺れ動く中学生の心を綴る6つの物語。



『キャベツ』 石井睦美 (講談社)

ぼくの恋は、キャベツから始まった。家族のために、今日もごはんのしたくをする
お兄ちゃん。掃除機をかけて洗濯するお兄ちゃん。そのお兄ちゃんが恋をした！



『WANDER』 R・J・パラシオ (ほるぷ出版)

オーガストはふつうの男の子。ただし顔以外は…。生まれつき顔に障害がある
オーガストは、はじめて学校に通うことになる。初めは避けられていたが、次第
に彼の話を面白いと感じる友だちが増えていく。



『レイン』 吉野匠 (アルファポリス)

異世界に存在する大陸ミュールゲニア。長く続いた平和な時代が終わり
を告げようとしていた。大国の脅威に直面し、滅亡の危機にある小国
サンクワール。やがて、戦士と王女が出会い、歴史が動き始める。



『死神の精度』 伊坂幸太郎 (文藝春秋)

「俺が仕事をすると、いつも雨が降るんだ」-7日間の調査ののち
対象者の死を見定め、8日前に死が実行される。クールで少しず
れている死神を取り巻く6つの人生の物語。



『鹿の王』 上橋菜穂子 (角川書店)

強大な帝国から故郷を守るため、絶望的な戦いを繰り広げ
た戦士団「独角」。その頭であったヴァンは奴隷となり、
岩塩鉱に囚われていた。ある夜、不思議な犬たちが岩塩鉱を
襲い、謎の病が発生。その際に逃げ出したヴァンは、幼い
少女を拾うが…。

